

再評価結果（令和２年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：渡辺 学

事業名	地域高規格道路 <small>かなざわの と</small> 金沢能登連絡道路 主要地方道 <small>かなざわ たつる はま やないだ</small> 金沢田鶴浜線（柳田IC～上棚矢駄IC）	事業区分	地方道	事業主体	石川県
起終点	自：石川県羽咋市柳田町 <small>ほくい やないだまち</small> 至：石川県羽咋郡志賀町上棚 <small>ほくいぐんしか まちうえだな</small>	延長	9.6 km		
事業概要 金沢能登連絡道路は、金沢市と羽咋郡志賀町を連絡する総延長60kmの地域高規格道路である。 主要地方道金沢田鶴浜線（柳田IC～上棚矢駄IC）は、金沢能登連絡道路の一部を構成する区間であり、現道区間の交通混雑の緩和や広域交流の促進、災害時の代替路として期待されている。					
H27年度事業化	都市計画決定なし	H27年度用地着手	H28年度工事着手		
全体事業費	約150億円	事業進捗率	約29%	供用済延長	— km
計画交通量	16,600台/日				
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年： 令和元年度	
	(事業全体) 1.5	(残事業)/(事業全体) 92/137億円 （事業費：83/127億円 維持管理費：9.2/9.2億円）	(残事業)/(事業全体) 205/205億円 （走行時間短縮便益：190/190億円 走行経費減少便益：10/10億円 交通事故減少便益：5.1/5.1億円）		
感度分析の結果 (事業全体) 交通量：B/C=1.4～1.7(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=2.0～2.5(交通量±10%) 事業費：B/C=1.4～1.7(事業費±10%) 事業費：B/C=2.1～2.5(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.5～1.9(事業期間±20%) 事業期間：B/C=2.1～3.3(事業期間±20%)					
事業の効果等 ①金沢・能登の時間距離の短縮 4車線化整備による渋滞の緩和により、走行速度の向上が図られ、定時性、到達性が向上することにより能登地域の定住促進、交流人口の拡大に寄与 ②安全・安心で円滑な交通の確保 4車線化整備により、走行幅員を広くし、物理的に車線を分離することで安全・安心で円滑な交通を確保 ③能登地域の経済活性化、企業立地の推進 4車線区間の拡大より、企業立地の増加及び物流の効率化が期待され、地域の発展と活性化を支える					
関係する地方公共団体等の意見 沿線自治体で構成される「のと里山海道整備促進期成同盟会」等から、本事業の早期完成の要望がある。					
事業評価監視委員会の意見 事業継続を妥当と認める					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 特になし					
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得率99%、事業進捗率29%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、事業を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等 今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。